

公益財団法人 生涯学習振興財団

財団通信

発行所
〒832-0814
福岡県糟屋郡三橋町巻見18-2
公益財団法人 生涯学習振興財団
TEL 0944-72-5452
FAX 0944-72-1303
発行人 理事長 沖永佳史
編集人 事務局長 井上正明

主催者あいさつ

紡いだ言葉が未来の道標になる



公益財団法人 生涯学習振興財団
理事長 沖永佳史

「高校生小論文コンクール」は、おかげさまで24回目を迎えました。当コンクールのテーマ「今こそ大志を語れ」は、当財団の初代理事長であり、帝京大学前学主・沖永莊一博士が提唱したもので、「日本の将来を担う高校生たちが、心に描いている夢や将来像を大志という形で文字に綴ってもらいたい」という思いが込められています。

今回の応募者総数は1万1千人を超え、参加校は237校となり、全国各地から素晴らしい作品が集まりました。今年の特徴として、個人部門では、自らの体験をもとに真摯な思いを表現した作

品が多く、多彩な輝きに満ちていました。グループ部門は74作品が寄せられ、調査や考察に独自の工夫が見られました。どちらの部門においても、より良い社会をつくっていくうとする逞しい意志を感じました。皆さんの作品は、今の時にしか書けない唯一無二のもので、言葉には、現実を創る大きな力があります。試行錯誤しながらも自ら紡いだ言葉は、皆さんの純粋な意志を守り、これからの歩みを支え、なりたいたい自分に導いてくれる道標になることと思います。

最後になりましたが、小論文を応募してくださった高校生の方、1万点以上の作品を一次から最終審査までご協力いただいた先生、審査委員の皆様など、たくさんのご尽力に心から感謝し、お礼を申し上げます。

第24回高校生小論文コンクール

「今こそ大志を語れ」をテーマにした高校生小論文コンクールでは、個人部門とグループ部門で、自分の未来や人生の夢、目標という身近なことから、福祉、教育問題、環境問題などの社会的な提言に至るまで、ジャンルを問わず、文章で綴る作品を募集しました。結果は左記の通りです。

沖永莊一博士記念大賞 (最優秀賞)

私の目指す医療の未来

学校法人鎌倉女学院 1年 小林美結さん

優秀賞

偏りのない世界へ

学校法人聖心女子学院札幌聖心女子学院高等学校 3年 福本あめりさん

読売新聞社賞

今の私の夢

長崎県立長崎西高等学校 1年 松野優奈さん

最優秀賞

土を見て水を守る

兵庫県立農業高等学校 1・2年 井筒愛梨和さん※ 中井大晟さん

優秀賞

六次化産業にチャレンジ! 規格外野菜の有効活用

福岡県立八女農業高等学校 3年 徳永善さん※ 平井奏名さん

読売新聞社賞

投票率を上げるための3つの解決策

佐賀県立致遠館高等学校 1年 伊藤龍成さん※ 丸田修也さん 塚原康晴さん

優秀学校賞

学校法人熊見学園 神戸星城高等学校
福岡県立朝倉東高等学校
福岡県立八女高等学校
鹿児島県立鶴丸高等学校

学校部門

グループ部門

個人部門

全国237校の高校からの応募と、一万人を超える応募から

この小論文コンクールは、基本テーマを「今こそ大志を語れ」として、沖永莊一前理事長の提唱である、「一人でも多くの現役高校生に、それぞれの夢を語っていただく」という趣旨ではじめられ、この度24回を迎えた。

コンクールは、個人部門とグループ部門に分けられ、自分の未来や人生の夢、目標という身近なことから、福祉、教育問題、環境問題等の社会的提言に至るまでジャンルを問わず、文章で綴る作品を募集している。

募集は10月末日に締め切り、全国から一万一千人をこえる応募をいただいた。審査の結果は上記のとおりです。審査は、11月に予備選審査を経た後、最終審査は12月4日に柳川市の白柳荘で行われ、細田明宏帝京大学文学部教授を委員長に、海老井悦子福岡県前副知事、森山良一福岡県教育委員会元教育長、深江一美福岡県教育庁教育振興部高校教育課指導主事、川浪康裕読売新聞西部本社編集局文化部長の各委員の活発な討議のもとで行われ、各賞受賞者が選ばれた。

大要な熱意を持って継続的に参加された学校

第24回高校生小論文コンクール受賞者

個人部門

優良賞

三六〇度広がる無限の可能性をもって
 国立大学法人筑波大学附属高等学校 1年
 三浦 愛紗美

伝統芸能の伝承者になるために
 学校法人湘南百合学園湘南百合学園高等学校 2年
 岡村 いろは

多様性に当たり前の意識を
 山口県立徳山高等学校 1年
 曾我 采音

追い求めてきた夢
 福岡県立筑紫丘高等学校 1年
 安部 慶大

食品が未来をつくる
 福岡県立三池高等学校 1年
 猪尾 光音

多様性ある社会へ
 早稲田大学系属早稲田佐賀高等学校 2年
 板垣 仁菜

ツルとわたし
 鹿児島県立鶴丸高等学校 3年
 武内 菜咲

奨励賞

動物人生

北海道大空高等学校 2年 荻原 桂
 心ある医療を目指して

学校法人百合学園百合学園高等学校 2年 矢部 瞳
 昆虫の楽園

学校法人湘南百合学園湘南百合学園高等学校 2年 稲田 恵果

グループ部門

優良賞

「悲劇のヒロイン」ではなく「誰かのヒーロー」に
 学校法人湘南百合学園湘南百合学園高等学校 2年 弓削 ころ
 「ジェンダーレス」を考える
 福岡県立藤島高等学校 2年 竹野 日菜子

マス寿司の知名度向上に向けて
 学校法人熊見学園神戸星城高等学校 3年 音花 慶太
 国際協力師になる
 西宮市立西宮高等学校 1年 久保 詩葉

心に寄り添う人になる
 広島県立広高等学校 2年 大林 史佳
 「個性」を受け入れる
 福岡県立朝倉東高等学校 3年 岳小原 みら

自分にとっての幸せな最期とは
 福岡県立修猷館高等学校 2年 原田 歩海
 夢を変えた裁判傍聴
 福岡県立筑紫丘高等学校 1年 森 杏奈

多様性
 福岡県立筑紫丘高等学校 1年 吉田 陽香
 寄り添える技術者に
 福岡県立福岡工業高等学校 2年 合谷 薫

「いただきます」から考える未来
 福岡県立福岡農業高等学校 3年 中尾 果鈴
 方言との関わり方
 福岡県立八女高等学校 1年 伊藤 優希

それは本当の「真実」か
 長崎県立長崎南高等学校 2年 竹山 惣一朗
 数学と向き合っていたい
 学校法人岩田学園岩田高等学校 2年 漆間 虎弥太

夢
 鹿児島県立鶴丸高等学校 3年 丸田 妃薫
 私達の宝物
 沖縄県立那覇西高等学校 3年 米須 宮

多様性をめざして
 沖縄県立那覇西高等学校 3年 當間 三依菜

学校部門

我々の考える殺物自給率
 福岡県立八女工業高等学校 2年
 梅尾 真由 ※ 宮本 竜之介 内藤 将之

地震や津波についての正しい知識を身につけよう
 岩手県立釜石高等学校 3年
 佐々木 結佳 ※ 小野 寺 苑子

人は、なぜ戦争を起こすのか
 学校法人細田学園 細田学園高等学校 2年
 嘉門 陸 ※ 加藤 颯真 平野 翔陸
 恩田 亮輔 澤田 篤宏

大型重機を用いた猪名川運動公園低水敷の整地作
 業による生態系の破壊と自然再生に関する研究
 大阪府立園芸高等学校 3年
 福井 一斗 ※ 能村 天喜 松口 歩佳
 高杉 直人

学校賞

前年に引き続き全体的に継続的かつ積極的に取り
 込まれている学校。及び、新規挑戦された学校。

〔神奈川県〕 湘南百合学園高等学校

〔兵庫県〕 甲南高等学校

〔広島県〕 広高等学校

〔香川県〕 高松南高等学校

〔福岡県〕 ありあけ新世高等学校・宇美商業高等学校・
 大川樟風高等学校・大牟田高等学校・輝翔館中等教育学校・

北九州工業高等専門学校・鞍手高等学校鞍手町立豊翔館・

久留米高等学校・小倉南高等学校・誠修高等学校・筑紫

丘高等学校・伝習館高等学校・柏陵高等学校・福岡工業

高等学校・福島高等学校・三池高等学校・三池工業高等

学校・三井中央高等学校・山門高等学校

〔佐賀県〕 早稲田佐賀高等学校

〔長崎県〕 長崎西高等学校
 〔宮崎県〕 宮崎大宮高等学校

(敬称略・順不同)

※印は代表

受賞コンクール

学校法人鎌倉女学院

鎌倉女学院高等学校1年

小林 美結さん

この度は、大変名誉な賞を受賞することができ、とても嬉しく思います。しかし実のところ、本当に自分が受賞したのか、と未だに信じられないような気持ちもあります。受賞を聞いたときも、なんだか地に足がつかないような、ふわふわとした感覚でした。

今回は、進路を決めるにあたりもう一度自分の夢を明確にし、目標に向かって気持ち新たに歩み進められるように、というつもりでこの小論文を書きました。本当に自分が将来やりたいこととは何なのか、医者になつて何をしたいのか。今までずっと強い思いを持ち続けてきた医療だからこそ、その厳しい現実や課題にも真剣に向き合って考えました。

今回は、医者の中でも特に自衛隊の中で働く「医官」を目指しています。医官として、人々がより安心して暮らせるようにしたい、という目標を実現するために、三年後にはそのスタートラインに立つていられるように、日々の努力を積み重ね、前へ進んでいきたいです。

学校法人熊見学園

神戸星城高等学校

校長 熊見 一郎

この度は昨年度に引き続き「優秀学校賞」の栄誉を賜り、深く感謝申し上げます。

本校では社会問題へ目を開くと共に、興味関心を持つように全校を挙げて取り組んでいます。朝の学習やHR活動で、新聞の切り抜きや時事問題を通して文章を読み、自ら意見文や小論文という形で文章化し、社会問題を「自分ごと」として受け入れる姿勢が、「小論文コンクール」という重みのある課題にも積極的

極的に取り組めた理由だと感じています。時々刻々と変化する社会で、将来の予想が困難な状況下、生徒たちが貴コンクールのテーマ「今こそ大志を語れ」の小論文に取り組むことは、自らの考えを明確にし、その実現へと向かう後押しになりました。このような機会を与えて頂きましたことを有難く思います。最後に、ご関係の皆様へ感謝いたしますと共に、貴財団の今後益々のご発展を祈念申し上げます。

福岡県立朝倉東高等学校

校長 大久保 光幸

この度は「優秀学校賞」受賞の栄誉を賜り、深く感謝申し上げます。

本校は、普通科とビジネス科を併設し、地域社会で活躍できる人材としての心構えや職業観を育てると共に、心豊かな人間性の育成に努めています。地元朝倉との繋がりを重視し、様々な活動に挑戦しています。

本校では、毎年、1年生が貴コンクールに参加しております。大きな希望を胸にこのことを具現化するために地元の高校に入学し、日々の授業や部活動に励む中、貴コンクールのテーマ「今こそ大志を語れ」の小論文に取り組むことで、改めて自身の在り方、考え方を再認識することができています。今成すべきことは何か、伸ばすべきもの、足りないものは何かと考えを巡らすことで自分自身に向き合い、心豊かな人間性が培われているものと考えます。このような貴重な機会を与えていただきましてこのように有難く思います。終わりに、関係の皆様方に深く感謝申し上げますと共に、貴財団の益々のご発展を祈念申し上げます。

福岡県立八女高等学校

校長 江崎 章

この度は「優秀学校賞」受賞の栄誉を賜り、心より感謝申し上げます。

本校は、県下で七番目に古い旧制中学校か

ら始まり、今年度で百十四年の歴史を築いてきました。明治から大正、昭和、平成、令和へと時代は変われども、校訓「質実剛健」の精神を継承しながら、時代の流れにも柔軟に対応できる学校への進化を目指しています。このため、本校中学七回卒で、文部大臣も務められた荒木萬壽夫氏が後輩・学校に贈られた言葉「養志」に共感し、高い志を持って地域や国・国際社会の発展・平和に貢献しようとする人材育成のため、今年度から「志選抜」という新たな高校入試を導入しました。まさに、「今こそ大志を語れ」は本校が目指すテーマでもあります。

鹿児島県立鶴丸高等学校

校長 前田 光久

この度、栄えある優秀学校賞の俥俥を得ましたこと、幸甚に存じます。三年連続の受賞は、生徒の励みになるとともに、本校の継続的な表現教育活動への最高の奨励ともなります。貴コンクールへの応募も十年を超えますが、テーマとして開始当初から一貫して与えられる「夢」や「未来」、「大志」に強い魅力を感じます。複雑で多様だからこそ、将来や未来を想像しにくい「今」を生きる若者が、現実に関心しながらも構築しようとする未来の設計図。これを自らの言葉で表現し他者に伝えんとする意欲こそ、自ら未来を切り拓き、他者と共に新たな世界を創り出す力になると信じます。優秀作品集は豊饒な感性の宝庫であり、これを読むと、未来を担う人材が着実に育成されていることに安堵を覚える次第です。今後も、日本の、世界の次代創出の契機として、貴コンクールが更に発展されますことをお祈りしますとともに、御関係の皆様、貴財団の御発展を重ねて祈念申し上げます。

審査にあたって



帝京大学文学部
日本文化学科教授
審査委員長
細田 明宏

24回目となりました今回も、大変多くの方にご応募いただきました。世間では新型コロナウイルスの感染がおさまっておりませんが、熱意にあふれた作品や初々しさを感ぜさせる作品が多数寄せられ、関係者一同大変嬉しく思っております。

個人部門では、体験にもとづいて社会のあり方を深く考えた作品が目立ちます。粗削りでありながらも力強さを感じさせる主張は、大いなる可能性を感じさせられました。グループ部門では、独自の調査をおこなって結論を導き出しているものなど、高校生らしい柔軟な発想による作品が目立ちました。みなさんのますますのご活躍を期待しています。

最後になりましたが、ご応募くださった高校生のみならず、ご指導の先生方、開催に当たりお骨折りましたこと、関係者各位に感謝申し上げます。

令和4年度

第33回筑南ジュニア美術展九州芸文館にて表彰式を行う

南筑後地区の園児・小・中学生までを対象とした筑南ジュニア美術展が開催された。

応募総数7,879点の作品より審査の結果256点の作品が入賞した。

10月16日(日)午前10時半より九州芸文館にて理事長賞受賞の32名の皆様の表彰式が行われ子どもたちに賞状や副賞などが授与された。

なお、入賞作品は、財団会館内ホールに展示していますので参観ください。

(入賞者一覧は財団通信別号で版に発表しています)



学習講座 ゆめ夢クラブ

毎週土曜日、英会話、美術教室を行っています。
※ 詳細は財団事務局へ

英会話教室



英会話教室



美術教室



学習講座



柳川まり



ヨガ



学習クラブ

おもなクラブは、謡曲、グランドゴルフ、ちりめん布工芸等、実施しています。



グランドゴルフ

公開講座

帝京大学福岡医療技術学部の先生方より健康講座を開いて頂きました。



公開講座